



公開講演

「言葉は心」

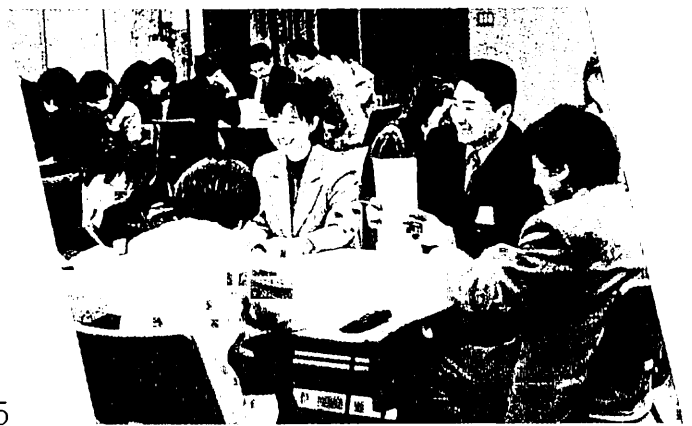
NHKセンター
エグゼクティブアナウンサー

杉本 泰夫氏

◀ 総合教育センターだより ▶

◇ — も く じ — ◇

- ・次長メッセージ..... 1
- ・講座を終えて..... 1
- ・情報教育研修部から..... 2
- ・受講者の感想..... 3. 4
- ・センター一日所長..... 4
- ・教育研究発表会案内..... 5
- ・各研修部研究の紹介..... 5



教職10年経過研修講座

平成11年12月16日発行

秋田県総合教育センター

〒010-0101 南秋田郡天王町天王追分西29番地の76
TEL 018(873)7200 (代表)
FAX 018(873)7201

ホームページのアドレス
<http://www.edu-c.pref.akita.jp/>

すこやか電話相談 018(873)7206
〃 0120-377804 (フリーダイヤル)
インターネット接続 018(872)1065
学習指導案 018(873)7210 (FAX)
レファレンスサービス
パソコン通信 018(873)7207

教育センターへどうぞ!



次長 樋口 勝郎

センターに勤務していると大きな役得がある。所内巡視にかこつけて講座を覗き見できることだ。興味のある講座を事前にチェックしておいて、当日、ついでに立ち寄ったようなふりをして講義を聴かせてもらう。管理職としての仕事もしていないわけではないが、こっちの方がずっと楽しい。その道の一流の先生による専門的な話は、やはり心に残る何かがある。

しみじみと感じ入った講座の中から二つ三つを。

その一・ A-20「小中学校新学年主任研修講座」中の公開講演「浜辺の歌と成田為三の世界」(浜辺の歌音楽館名誉館長 後藤惣一郎先生)

心底為三を好きなのだと思わせる熱狂的な話しぶり。控室に戻ってからも興奮覚めやらず、続編を一時間以上にわたり語り続ける。かなりのご高齢でいらっしゃるが、その尽きることのない情熱に感服。お土産にと、自作の「からまつ」「雪のかたち」を吹き込んだテープを頂戴する。これがまた素晴らしく、本人に似ず静かで穏やかな曲。何回も聞き入りすっかり覚えてしまう。

講座を終えて

教員は、今、大変な時代を迎えている。教育改革という大波が押し寄せ、社会の急激な変化に伴い、学校や教員への期待や要望も大きく変わってきている。教職の高度化、多様化につれて、教員の役割は益々拡大している。

今日、学校においては、いじめや不登校等深刻な問題が生じており、教員には、教科指導、生徒指導及び学級経営等でも、新たなる資質能力が求められている。特に、「変化の時代に生きる社会人に求められる資質能力」として、課題解決能力や人間関係に関するもの、外国語コミュニケーション能力及びコンピュータ活用能力等が求められている。教員はこれらを身につけるべく研修に努め、様々な教育課題に適切に対応し、児童・生徒の「生きる力」を育むことが期待されている。

そんな折、当センターのある研修講座中、居眠りをしたり、小説を読んでいる受講者を発見した。このような教員は、研修意識が低く研修に対する心構えもなく、教職にあぐらをかいているとも言える。受講者は講座に対して、興味・関心を持つことは勿論のこと、講座内容が今日的教育課題や教育の不易

その二・ C-3「音読・朗読トレーニング」

講座の最後に講師の谷京子さんがレオ・プスカリア作の童話「葉っぱのフレディ」を朗読してくれた。まもなく入院・手術が決まっていた私には一節一節が心に染み入り、一番後の席で年がいてもなくぼろぼろと涙を流しながら聞く。入院中、「いのち」「生きがい」について思いを巡らし、そして無事退院できた。

その三・ C-84「事例研究-問題行動-」

スクールカウンセラーでもある児童相談所の柴田健氏の講義で、カウンセリングの一手法である「短期療法」についてはじめて知った。かつて不登校の生徒を復帰させることができなかったことを悔やみつつ聴いた。「こうした知識があれば、あの時もっと積極的な対応ができたかもしれない。」と。

センターでは、常に工夫・改善をこらし、良質の講座となるよう努力しております。お忙しい毎日とは存じますが、是非年に一度は(無理なら二、三年に一度でも)おいでいただき、リフレッシュ或いはオーバーホールに活用していただきたいと思います。



教職研修部長 菅原 浩

と流行を踏まえているか、また、講話や講義の論理に矛盾がないか等、批判的精神を持って臨むことが肝要である。

研修講座の講師から学ぶ点が多かった。これからの日本の教育の在り方を柔軟にとらえており、資料・レジュメも正確で、受講者を把握するアイ・コンタクトも素晴らしく、洗練された無駄のない話しぶりには魅了された。また、講座終了後の自己評価も厳しかった。

教員の資質能力は、生涯にわたり、絶えずその向上を図らなければならないし、力量の向上も、日々の教育実践や教員自身の研鑽によるところが大である。特色ある学校を作り、学校を魅力あるものにするには、「授業の活性化」が第一である。その為には、一人一人の教員が「創造性の原点」に返り、常に授業活性化のためのヒント・アイデアを求め、それらを培養・孵化し(寝せておき)、いつでも授業に使えるよう、脳の新しい回路づくりに着手することが大切である。そうすることにより、斬新な授業実践のための「ひらめき」が生まれ、創造力が逞しく、個性豊かな教員に変身することが期待できる。

情報教育新時代に向けて

情報教育研修部長 伊藤 一郎



すべての先生がコンピュータを使えるように

これからの高度情報通信社会を生き抜くために、児童生徒の情報活用能力を育成する方策が、文部省を中心として強力に打ち出されています。

新学習指導要領では情報教育の体系的な実施が明示されています。すべての校種の総則で「各教科・科目の指導に当たっては、児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用できるようにすること」とされています。

そのためには先生方の情報活用能力の向上が第一に求められます。文部省では平成13年度までに、コンピュータを操作できる教員の割合を100%に、コンピュータを使って授業ができる教員の割合を50%にする目標を立てています。秋田県の現状は、各55.4%、26.2%です。当センターでも基礎講座、応用講座を多数設定して受講をお待ちしております。

当センターでの人気講座、「はじめて触れるパソコン」は時間の経過を忘れるほどの熱気にあふれ、キーボードに触ったことのない先生でも2日間の研修後には、インターネット、電子メール等を使いこなすまでになっています。この講座は、コンピュータにはじめて触れる先生大歓迎です。また夏休み中に県北、県南への移動講座も設けています。

センターでは来年度も情報教育の講座を多く設定し、先生方の受講をお待ちしています。特にC講座(希望講座)での積極的な研修を期待します。

インターネットが教育センターから利用できます

当センターでは、平成10年2月17日に、「花まるっ教育ネットkna」という教育情報通信ネットワーク拠点を開設し、県内の公立小・中・高・特殊教育学校および教職員に対して、インターネット接続サービスを実施しております。

インターネットは、民間プロバイダとの契約によっても使用可能ですが、それと同様のサービスを学校と教職員に限り提供しているものです。内容は、

- (1) ダイヤルアップ接続
- (2) 電子メールの利用
- (3) ホームページ登録(学校のみ)
- (4) 教育ネットAkitaの利用

です。この(4)は、パソコン通信で構築した、教育情報データおよび掲示板機能等をインターネットからも利用できるように引き継いだものです。ネット名の中の「kna」はこの部分を表しています。

当センターのホームページは、現在1ヶ月約1万件的非常に高いペースで閲覧を頂いております。内容は、学習用検索エンジン、学習用リンク集、教育フォーラム、教育用ソフトウェア、教育データ、ふるさとデータ等です。特に、学習用検索エンジンは、当センター職員が、学習に有用であるとして登録し

たものですので、調べ学習に最適のものとなっています。このホームページは、インターネットに接続すれば、どのようなルートからでも閲覧可能です。どうぞご利用ください。

(URL <http://www.edu-c.pref.akita.jp/>)

インターネット接続サービスを開始した際に、県内の全部の公立学校にIDとパスワードを発行しました。しかし、学校のコンピュータ導入や整備前に、紛失してしまったのでどうすればよいか、という問合せを多数受けております。IDおよびパスワードはキャッシュカードの暗証番号同様非常に大切なものです。インターネットの不正使用を誘発することにもなりかねませんので、その管理を厳重にするようお願いしています。

紛失の場合は、申請により、全く新しいパスワードを再発行しております。申請は、「秋田県総合教育センター・情報通信ネットワーク拠点 活用マニュアル」(平成10年4月発行)のP.67「ダイヤルアップ接続申請書(学校等用)」によります。

また、毎年4月にセンターから利用継続の確認のための電子メールの送付をし、学校および利用教職員からの電子メールでの返信をお願いしております。この返信により、新年度の利用継続が自動的に行われる仕組みになっておりますので、お忘れなくお願いします。

教育情報衛星通信ネットワーク「eI-NET」(エル・ネット)が動きます

通信衛星経由で、テレビによる研修を行うことを目的としたエル・ネットが、今年6月30日より運用開始となりました。このシステムで、国立教育会館、国立科学博物館、各県教育センター、各県生涯学習センター等を、相互に接続し通信することができます。この双方向通信の特性を生かし遠隔地からも広域でかつ同時参加の研修が可能になりました。

エル・ネットは、全国こどもプランの「子ども放送局」、教職員向けの研修講座「el-STEP」(エル・ステップ)等として使用されます。当センターでは、今年度は受信のみの受講となりましたが、年度内に双方向通信設備の工事を完了し、来年度から本格的に利用する計画です。



情報教育研修部での受講風景

受講者の感想

小学校初任者模擬授業研修

雄勝町立横堀小学校教諭 石川 直子

小学校初任者研修講座が始まって半年が過ぎた10月6日、模擬授業研修が行われた。

いつもとは勝手が違い大人が相手だったこと、指導主事の先生方もいたことから緊張感が漂う中での授業だった。しかし、そうした中でいつも担任している学年の授業のみならず、他の学年の様々な授業の進め方に触れることができ、たいへん有意義な研修であった。今回の模擬授業は20分間であったが、欲を言えば1単位時間の設定であれば、さらに深い研修ができたのではないかと思う。

現在は校内の初任者研修として担当教諭をはじめ他の先生方に授業を見ていただき指導を受けているが、今後はさらにこうした機会を有効に活用して自己研鑽に努めたい。



中学校初任者模擬授業研修

秋田市立城東中学校教諭 真崎 敦史

数学科と理科の合同の模擬授業研修を通して、他の先生方の魅力ある授業を「いろいろ工夫されているな」「自分も負けていられない」と思いながら参観させていただきました。改めて、徹底した教材研究、創意ある指導法の研究などの重要性を再認識しました。

私は、「電流」の単元全体に対する導入として「静電気」の授業を展開しました。拙い授業にもかかわらず、指導主事の先生を含めた協議では、活発な話し合いがなされ、貴重な助言等を頂き、たいへん勉強になりました。本当に実りある研修でした。

学んだことを子どもに返していかなければならないという気持ちを忘れずに、日々明るく前向きな姿勢で頑張ります。



高等学校初任者研修

「学習意欲を引き出す評価」

秋田県立大館鳳鳴高等学校教諭 成田 朋子

「評定」は生徒の進路決定に大きな影響を与えます。そのような現状を背景に、日々の生徒とのやりとりの中で、私たちは無意識のうちに「評定」に束縛されているのかもしれない。しかし、「評定」のみにとらわれた考え方では、生徒を十分に「評価」はできません。学習指導要領の改訂によってこれからの「評価」の在り方もずいぶんと変わります。

研修では「評価」の目的は「評定」ではなく「教育活動の中での反省・改善」であると学びました。「反省・改善」することをいとわずに、それぞれの教育活動の目的・目標を明確にし、適正な評価をしていきたい、そのようなことを考えることのできた研修でした。



特殊教育学校初任者研修

秋田県立大曲養護学校教諭 小川 成樹

講座では、「身近な素材を生かした遊び」と「音あそびと音楽ゲーム」の内容が扱われ、中でも後者の講義は、本校中学部の指導実践に関連していて、次のことが深く印象に残りました。それは、『音楽を通した肌と肌の触れ合い』です。一緒に肩を組んだり、手をつないだりして歌えば、ぐっと一体感が生まれ、学習活動に感動を覚えるということです。

中学部の音楽の授業では、手話を交えたり、皆で一緒に体を存分に動かしたりして歌っています。そんな時の生徒の表情はやはり、普段の学習以上にとっても生き生きとして、自然に生徒の間にいろいろなかかわり合いが生まれているように思います。スキンシップのある音楽の学習は、子どもたちの生活を豊かにしてくれることを実感できた研修でした。



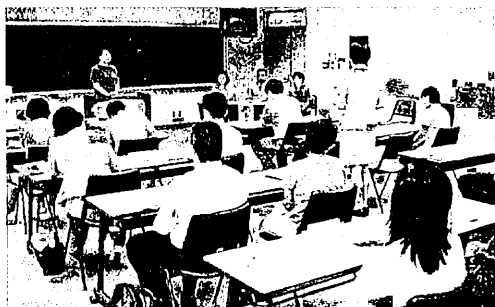
受講者の感想

「学校における福祉教育の在り方」

六郷町立六郷中学校教諭 柴田 直紀

初日は、「福祉教育の現状と課題」というテーマで県社会福祉協議会の斉藤先生から講義を、「福祉活動の体験を通して」というテーマで比内町立扇田小、西仙北町立東中、西仙北高校から発表を、県ボランティアセンターの門脇先生から「福祉疑似体験」の実習をしていただいた。2日目は、特別養護老人ホームで「福祉施設実習」を体験した。

福祉教育を考える導入段階の者にとっては、講座内容全てが新鮮で示唆に富むものであった。特に、「福祉施設実習」は心に残った。食事介助やゲームを通して、お年寄りとおふれあうことができた。行く前は不安であったが、その不安もいつのまにか消えていた。お年寄りの笑顔に励まされ、生きる喜びや命の尊さを教えられた一日だった。



学校の創意工夫を生かす

『総合的な学習』研修講座

鹿角市立七滝小学校教頭 吉成 敏子

総合的な学習について、先進校の取り組みを学びたいと思い参加したが、内容も充実しており時宜に適った研修会で得るものが沢山あった。

先進校の紹介があったが、特に印象に残ったのは千葉県打瀬小学校の取り組みである。総合的な学習「うたせ学習」は、バリアフリーの考えが生かされており、学年共同担任制など新たな視点を呈示されたように思った。また、演習時に各校の取り組みを紹介し合ったが、ふるさと教育で取り組んできた、合科的・横断的な考え方を生かして、学校独自のものを創りだしていきたいという学校が多かった。

講話からも、ねらいや意義が具体的に示されたが、今は、学校の実態を見据え、先生方の創意と工夫で指導計画・年間計画作りをしたいと考えている。



～「一日所長」の1コマ～

この8月19日（木）、昭和町大久保にお住まいの澤木桂子さんに一日所長をお願いしました。当日、澤木さんには長女の遙菜さん（小学校2年）とともに、施設や研修講座を視察していただき、一般の方々にはあまり知られてない教育センターについて御理解を深めていただきました。澤木さんは、とくに教育相談や情報教育に関心をもたれたようで、視察後の座談会でもこれらに関していくつかの質問や御意見をいただきました。なお、遙菜さんはプラネタリウムが一番楽しかったとのことです。（写真は、電子顕微鏡で撮影した写真を見ているところと、インターネットで教育センターのホームページを開いているところです。）



秋田県総合教育センター主催

平成11年度
第14回

秋田県教育研究発表会

期日 平成12年2月9日(水)～10日(木)
会場 秋田県総合教育センター

記念講演

演題 「これからの心の教育」

講師 関西学院大学教授 横山利弘氏

日程

9日 (水)	10:00		11:00		12:20	13:30	16:00
	受付	教育研究 奨励賞 授賞式	教育研究 発表会 開会式	研究 概要 説明	各研修部の 研究発表	昼 食	
10日 (木)	9:30		12:00		13:10	15:00	
	受付	分野別研究発表(分科会)			昼 食	記念講演	

各研修部研究の紹介

基本研究課題 「『生きる力』をはぐくむ豊かで特色ある学校の創造」

(1) 教職研修部

研究課題	研究内容
学校の創意工夫を生かした教育課程の編成 ー小学校ー	・各小学校の教育課程編成に向けた現状と課題を踏まえ、教育課程編成上の基本的な考え方及び具体的な手順、留意事項等を示す

(2) 教科研修部

研究課題	研究内容
「生きる力」を育てる学習指導ー学び方が身に付く学習の在り方ー	・「生きる力」を育てる学習指導の在り方を明らかにする ・各教科における「学び方」が身に付く学習の在り方を提案する

(3) 情報教育研修部

研究課題	研究内容
インターネットの教育利用を促進する校内研修の在り方	・各学校段階に応じた児童生徒の情報活用能力の内容を探る ・インターネットの教育利用を促進する校内研修の在り方について提案する

(4) 特殊教育・相談研修部

研究課題	研究内容
特殊学級における「個別の指導計画」	・特殊学級児童生徒のための「個別の指導計画」作成に向けた調査及びその分析を行い、試案を作成する